

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 044	提案機関名 農業技術センター三浦半島地区事務所
要望問題名 海野の収穫適期の確定について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 三浦半島地域は、冬のダイコン・キャベツ、夏のスイカ、カボチャ、メロン、トウガンなどを中心に生産する県内最大の野菜生産地帯である。 主力作物の価格低迷が続いていることから新規導入作物の検討が行われており、「海野」についても栽培試験が行われており、生産者からも注目されている。 しかし、収穫適期を逃すと肥大茎が空洞となるなど商品価値が著しく低下することから収穫適期の見極めが大きな問題となっています。収穫適期、目安となる出荷重等の確定を希望する。 海野栽培面積 約2ha	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ① 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③ 4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ① 農業技術センター <input type="checkbox"/> ② 畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③ 水産技術センター <input type="checkbox"/> ④ 自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター三浦半島地区事務所	担当部署	研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ① 実施 <input type="checkbox"/> ② 実施中 <input type="checkbox"/> ③ 継続検討 <input type="checkbox"/> ④ 実施済 <input type="checkbox"/> ⑤ 調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥ 現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦ 実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 作型解析やマーケティング調査に基づく新たな三浦半島特産品の開発・導入 ザーサイの安定生産技術の確立		
対応の内容等	肥大茎の空洞は一昨年になん少発生が見られ、昨年はお指摘の通り発生が目立ちました。昨年の試験では肥大茎の生育肥大が進むほど空洞は多くなるデータが得られております。しかし、まだ不明の点も多くあり、この課題につきまは、今年度より3年間、は種時期、施肥量、栽植密度などについて空洞茎の発生回避対策に資するためのより詳細な調査を予定しております。加えて、茎葉部の出荷を目指した収穫適期や肥大茎の適正出荷重などについても試験を行って参ります。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ① 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③ 4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④ 5～10年以内		
備考			